

# 業種別死傷災害発生状況 (令和7年11月末)

鹿児島労働局

業種 年	令和7年		令和6年		対前年			
					増減数		増減率	
	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数
全産業	1,824	10	1,877	16	-53	-6	-2.8%	-37.5%
1 製造業	357	1	339	5	18	-4	5.3%	-80.0%
1 食料品製造業	211		219	3	-8	-3	-3.7%	-100.0%
4 木材・木製品製造業	18	1	20	1	-2		-10.0%	
9 窯業土石製品製造業	14		15	1	-1	-1	-6.7%	-100.0%
11~12 金属製品製造業	19		22		-3		-13.6%	
13~15 機械機具製造業	32		31		1		3.2%	
上記以外の製造業	63		32		31		96.9%	
2 鉱業	7		2		5		250.0%	
3 建設業	262	2	278	6	-16	-4	-5.8%	-66.7%
1 土木工事業	100	2	102	5	-2	-3	-2.0%	-60.0%
2 建築工事業	123		127	1	-4	-1	-3.1%	-100.0%
3 その他の建設業	39		49		-10		-20.4%	
4 運輸交通業	186	1	178	1	8		4.5%	
1 鉄道・航空機業	2		2					
2 道路旅客運送業	16	1	15		1	1	6.7%	
3 道路貨物運送業	167		161	1	6	-1	3.7%	-100.0%
4 その他の運輸交通業	1				1			
5 貨物取扱業	16		21	1	-5	-1	-23.8%	-100.0%
1 陸上貨物取扱業	2		8		-6		-75.0%	
2 港湾運送業	14		13	1	1	-1	7.7%	-100.0%
6 農林業	93	2	93	2				
1 農業	54	1	50	1	4		8.0%	
2 林業	39	1	43	1	-4		-9.3%	
7 畜産・水産業	62		109		-47		-43.1%	
8 商業	238	1	238			1		
1 卸売業	35		45		-10		-22.2%	
2 小売業	178	1	174		4	1	2.3%	
3 理美容業	3		1		2		200.0%	
4 その他の商業	22		18		4		22.2%	
9 金融・広告業	16		15		1		6.7%	
11 通信業	24		19		5		26.3%	
12 教育・研究業	15		13		2		15.4%	
13 保健衛生業	313		313					
1 医療保健業	127		122		5		4.1%	
2 社会福祉施設	179		184		-5		-2.7%	
3 その他の保健衛生業	7		7					
14 接客娯楽業	96		95		1		1.1%	
1 旅館業	23		25		-2		-8.0%	
2 飲食店	52		50		2		4.0%	
3 その他の接客娯楽業	21		20		1		5.0%	
上記以外の事業	139	3	164	1	-25	2	-15.2%	200.0%
10 映画・演劇業								
15 清掃・畜業	77	3	89		-12	3	-13.5%	
16 官公署								
17 その他の事業	62		75	1	-13	-1	-17.3%	-100.0%
陸上貨物運送事業（4-3-5-1）	169		169	1		-1		-100.0%
第三次産業（8~17）	841	4	857	1	-16	3	-1.9%	300.0%

① 死傷者数は、労働者死傷病報告のうち休業見込み日数が4日以上の災害によるもので、死亡者を含みます。

② 死亡者数は、各労働基準監督署の調査等により把握したもので、労働者死傷病報告が未提出の場合もあります。

③ 下段の陸上貨物運送事業（4-3-5-1）及び第三次産業（8~17）は、別計。

④ 死傷者数、死亡者数ともに新型コロナウイルス感染症患者を除く。

# 業種別 事故の型別・年齢別死傷災害発生状況 (令和7年11月末)

鹿児島労働局

事故の型別								年齢別						
業種	順位	令和7年	人数	割合	順位	令和6年	人数	割合	令和7年		令和6年		増減数	
									人数	割合	人数	割合		
全産業	1	転倒	504	27.6%	1	転倒	473	25.2%	~19歳	35	1.9%	35	1.9%	
	2	墜落・転落	322	17.7%	2	墜落・転落	344	18.3%	20歳～29歳	229	12.6%	199	10.6%	30
	3	動作の反動・無理な動作	282	15.5%	3	動作の反動・無理な動作	293	15.6%	30歳～39歳	213	11.7%	249	13.3%	-36
	4	はさまれ・巻き込まれ	177	9.7%	4	はさまれ・巻き込まれ	207	11.0%	40歳～49歳	319	17.5%	326	17.4%	-7
	5	切れ・こすれ	109	6.0%	5	切れ・こすれ	124	6.6%	50歳～59歳	406	22.3%	402	21.4%	4
									60歳～	622	34.1%	666	35.5%	-44
製造業	1	転倒	96	26.9%	1	転倒	88	26.0%	~19歳	11	3.1%	6	1.8%	5
	2	はさまれ・巻き込まれ	63	17.6%	2	はさまれ・巻き込まれ	66	19.5%	20歳～29歳	49	13.7%	32	9.4%	17
	3	動作の反動・無理な動作	44	12.3%	3	墜落・転落	50	14.7%	30歳～39歳	53	14.8%	58	17.1%	-5
	4	墜落・転落	41	11.5%	4	動作の反動・無理な動作	41	12.1%	40歳～49歳	64	17.9%	52	15.3%	12
	5	切れ・こすれ	36	10.1%	5	切れ・こすれ	37	10.9%	50歳～59歳	78	21.8%	65	19.2%	13
									60歳～	102	28.6%	126	37.2%	-24
建設業	1	墜落・転落	93	35.5%	1	墜落・転落	102	36.7%	~19歳	6	2.3%	9	3.2%	-3
	2	転倒	37	14.1%	2	はさまれ・巻き込まれ	32	11.5%	20歳～29歳	53	20.2%	45	16.2%	8
	3	はさまれ・巻き込まれ	25	9.5%	3	転倒	30	10.8%	30歳～39歳	32	12.2%	36	12.9%	-4
	4	切れ・こすれ	21	8.0%	4	切れ・こすれ	26	9.4%	40歳～49歳	46	17.6%	42	15.1%	4
	5	交通事故 (道路)	18	6.9%	5	飛来・落下	22	7.9%	50歳～59歳	36	13.7%	43	15.5%	-7
									60歳～	89	34.0%	103	37.1%	-14
陸上貨物 運送事業	1	墜落・転落	52	30.8%	1	墜落・転落	48	28.4%	~19歳			4	2.4%	-4
	2	転倒	27	16.0%	2	動作の反動・無理な動作	30	17.8%	20歳～29歳	13	7.7%	11	6.5%	2
	3	動作の反動・無理な動作	24	14.2%	3	転倒	26	15.4%	30歳～39歳	20	11.8%	19	11.2%	1
	4	はさまれ・巻き込まれ	18	10.7%	4	はさまれ・巻き込まれ	20	11.8%	40歳～49歳	43	25.4%	48	28.4%	-5
	5	激突され	18	10.7%	5	激突され	15	8.9%	50歳～59歳	43	25.4%	49	29.0%	-6
									60歳～	50	29.6%	38	22.5%	12
林業	1	激突され	8	20.5%	1	激突され	10	23.3%	~19歳	1	2.6%			1
	2	切れ・こすれ	8	20.5%	2	切れ・こすれ	10	23.3%	20歳～29歳	6	15.4%	8	18.6%	-2
	3	飛来・落下	6	15.4%	3	墜落・転落	5	11.6%	30歳～39歳	9	23.1%	7	16.3%	2
	4	はさまれ・巻き込まれ	6	15.4%	4	転倒	4	9.3%	40歳～49歳	9	23.1%	13	30.2%	-4
	5	墜落・転落	5	12.8%	5	飛来・落下	4	9.3%	50歳～59歳	6	15.4%	9	20.9%	-3
									60歳～	8	20.5%	6	14.0%	2
第三次 産業	1	転倒	325	38.6%	1	転倒	296	34.5%	~19歳	13	1.5%	14	1.6%	-1
	2	動作の反動・無理な動作	185	22.0%	2	動作の反動・無理な動作	186	21.7%	20歳～29歳	80	9.5%	74	8.6%	6
	3	墜落・転落	105	12.5%	3	墜落・転落	107	12.5%	30歳～39歳	72	8.6%	107	12.5%	-35
	4	交通事故 (道路)	45	5.4%	4	交通事故 (道路)	58	6.8%	40歳～49歳	136	16.2%	135	15.8%	1
	5	はさまれ・巻き込まれ	36	4.3%	5	はさまれ・巻き込まれ	42	4.9%	50歳～59歳	213	25.3%	187	21.8%	26
									60歳～	327	38.9%	340	39.7%	-13
小売業	1	転倒	77	43.3%	1	転倒	73	42.0%	~19歳			6	3.4%	-6
	2	動作の反動・無理な動作	25	14.0%	2	動作の反動・無理な動作	24	13.8%	20歳～29歳	22	12.4%	15	8.6%	7
	3	墜落・転落	24	13.5%	3	墜落・転落	21	12.1%	30歳～39歳	13	7.3%	20	11.5%	-7
	4	交通事故 (道路)	11	6.2%	4	交通事故 (道路)	17	9.8%	40歳～49歳	26	14.6%	24	13.8%	2
	5	はさまれ・巻き込まれ	9	5.1%	5	激突	9	5.2%	50歳～59歳	49	27.5%	32	18.4%	17
									60歳～	68	38.2%	77	44.3%	-9
社会福 祉施設	1	転倒	73	40.8%	1	転倒	69	37.5%	~19歳	1	0.6%			1
	2	動作の反動・無理な動作	60	33.5%	2	動作の反動・無理な動作	66	35.9%	20歳～29歳	12	6.7%	8	4.3%	4
	3	墜落・転落	12	6.7%	3	墜落・転落	12	6.5%	30歳～39歳	8	4.5%	24	13.0%	-16
	4	その他	8	4.5%	4	激突	8	4.3%	40歳～49歳	27	15.1%	35	19.0%	-8
	5	激突され	7	3.9%	5	激突され	7	3.8%	50歳～59歳	54	30.2%	44	23.9%	10
									60歳～	77	43.0%	73	39.7%	4
飲食店	1	転倒	19	36.5%	1	転倒	22	44.0%	~19歳	6	11.5%	4	8.0%	2
	2	切れ・こすれ	9	17.3%	2	切れ・こすれ	8	16.0%	20歳～29歳	8	15.4%	8	16.0%	
	3	高温・低温の物との接触	9	17.3%	3	高温・低温の物との接触	7	14.0%	30歳～39歳	5	9.6%	10	20.0%	-5
	4	墜落・転落	5	9.6%	4	動作の反動・無理な動作	4	8.0%	40歳～49歳	2	3.8%	3	6.0%	-1
	5	動作の反動・無理な動作	4	7.7%	5	墜落・転落	2	4.0%	50歳～59歳	17	32.7%	8	16.0%	9
									60歳～	14	26.9%	17	34.0%	-3

※事故の型別について…上位5位までの型のみを表示しています。

※新型コロナウイルス感染症り患者を除く。

## 令和7年 死亡災害事例(令和7年11月末日現在)

鹿児島労働局

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	経験年数	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
1	令和7年 2月	木材・木製品製造業	作業者	男	73	2年	はまれ・巻き込まれ	フォークリフト	雑木の剪定で発生した枝を運搬するため、スリングベルトで束ねた枝を代表者が操作するフォークリフトで吊り上げた後、被災者は枝が揺れないよう手で支えながらフォークリフトとともに町道を移動していたところ道路上に転倒し、前進してきたフォークリフトに右脚をひかれ、その後死亡した。
2	令和7年 2月	農業	作業者	女	20	3ヶ月	激突され	移動式クレーン	サトウキビ畠横の町道付近にて、事業主が前日に刈り取ったサトウキビの積込作業を行うためトラッククレーンのアウトリガーを張り出そうとしていたところ、当該クレーンが前進し始め、補助作業のため近くを通行していた被災者がトラッククレーンのアウトリガーと電柱との間に挟まれたもの。
3	令和7年 4月	木材伐出業	作業者	男	54	20年	激突され	立木	皆伐作業において、被災者がチェーンソーでヒノキの伐採作業(1人作業)を行っていたところ、当該ヒノキとつるで絡まった別のヒノキが、伐倒したヒノキとともに倒れ、被災者に激突したもの。
4	令和7年 7月	燃料小売業	運転者	男	57	2年	墜落・転落	トラック	エンジンオイルが入ったドラム缶をトラック(最大積載荷重1500kg、テールゲートリフター付き)に積み込む作業を行っていたところ、被災者から同僚に「荷台から落ちて手首を折った。」との連絡があり倉庫に向かったところ、被災者がトラックの助手席で意識朦朧の状態でうずくまつており、救急搬送されたが、9日後に死亡した。
5	令和7年 7月	産業廃棄物処理業	運転者	男	52	7か月	はまれ・巻き込まれ	整地・運搬・積込み用機械	被災者は出張作業においてスキッドステアローダーを運転し、養鶏場の鶏糞等の清掃作業に従事していたが、同僚が養鶏場内に入ったところ、スキッドステアローダー車体及びブームの枠に挟まれている被災者を発見した。
6	令和7年 8月	土木工事業	作業者	男	45	20年	はまれ・巻き込まれ	掘削用機械	砂防ダム新設工事において基礎石(直径60cm、重さ200kg)を法面上部に設置するため、ドラグショベル2台を用いてリレー形式で基礎石を移動させていたが、バケットから地面に降ろした基礎石のひとつが落下しそうになつたため避けようと旋回したところ、付近で整地作業を行っていた被災者がドラグショベルのバケットと砂防ダム壁面の間にはまれたもの。
7	令和7年 8月	産業廃棄物処理業	作業者	男	76	5年	はまれ・巻き込まれ	トラック	事業場敷地内において、被災者は単独で、ゴミ収集車(プレス式塵芥収集車)に段ボールを投入する作業を行っていたところ、近くにいた同僚労働者が、ゴミ収集車のプレスプレートに上半身を挟まれた状態の被災者を発見したもの。
8	令和7年 9月	ハイヤー・タクシー業	運転者	男	76	12年	交通事故(道路)	乗用車	被災者は、乗客を乗せて国道を走行していたが、飛び出してきたタヌキを避けるためハンドルを右に切ったところ、対向車線を越えて右側の法面に激突して頭部を打ち、救急搬送されたが14日後に死亡した。
9	令和7年 10月	土木工事業	運転者	男	74	55年	墜落・転落	掘削用機械	令和7年8月の豪雨災害による災害復旧工事現場において、被災者がドラグ・ショベルを運転して陥没穴の埋戻し作業を行っていたところ、当該陥没穴内にドラグ・ショベルごと墜落し、被災したもの。
10	令和7年 11月	産業廃棄物処理業	作業者	男	66	0年	墜落・転落	作業床	被災者は、破袋機前方に仮設された作業床上で、ペットボトルのペールを固定しているPPバンドを外し、破袋機の投入口にペットボトルを投入する作業に従事していたところ、作業床から破袋機の投入口に墜落し、回転刃に巻き込まれたもの。